

## 平成30年度 第4回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時：平成 31 年 2 月 26 日(火)

10 時 00 分～11 時 30 分

場所：摂津市民図書館 3階大会議室

出席委員： 8名

欠席委員： 2名

事務局： 3名

案件 1. モニタリング評価結果報告(平成 30 年度第 3 四半期)

2. 平成 31 年度年間事業計画案

3. その他

(1)モニタリング評価結果報告(平成 30 年度第3四半期)について

(事務局) — モニタリング評価結果(平成 30 年度第 3 四半期)について説明 —  
モニタリング評価自由記載欄の意見について

(事務局) ○「アンケートの中でおとなのイベントをもっと増やしてほしいとあったが、実にそう思う。有料でもいいのでお願いしたい。」ということについて。

⇒子どもと大人と一緒に参加できるものを考えていければと思っている。図書館としては大掛かりなものをするのではないので有料ということは考えていない。無料で気軽に参加していただきたいと思っている。

(事務局) ○「今年に入ってから驚異的なインフルエンザのせいか1～2月という寒い時期のせいもあるのですが、鳥飼図書センターは普段より一層静かな上寒々しく、何となく暗く感じました。いつも感じるのですがもう少し館内全体に明るい雰囲気が出る工夫がほしいと思います。」

⇒分析はできていないが統計上も利用者数が少なかった。インフルエンザの影響も考えられるかと思う。地域性も若干関係があるのかもしれない。公共図書館では全国的に利用者が減少傾向である、市民図書館は全国とほぼ同じ減少率だが鳥飼は若干上回っている。展示などで工夫して季節感を出しつつ館内の雰囲気を作りたい。

(事務局) 鳥飼図書センターの屋根瓦が9月の台風で飛んでしまい自習室が雨漏りのため使用できず、イベント特に映画会を中止にしていたのもあり来館者が少なかったと思っている。

(事務局) ○「11月期のビブリオバトル、参加者(発表者)の確保の為にカウンターで積極的に声掛けしても良いのでは、と思いました。図書館をよく利用される方やスタッフと気軽にコミュニケーションをとってくださる方などに、いかがでしょうか。」

⇒3連休初日の影響があった。発表者が4人、観覧も少なかった。発表者を「小学生以上で」として小中学校にポスターを掲示した。が、いざ発表となると尻込みして参加申し込みをしていた小学生が前日にキャンセルしてきた。しかし、市外から参加してくれた小学生の発表をたまたま見た市内の小学生が「できる」手ごたえをもってくれたので、心理的な障壁がさがったと思う。来年度は連休を避けて日程を作る。

(事務局) ○「イオンモール茨木でのイベント、大きな会場で摂津の図書館の広報も含めお疲れ様でした。このおはなし会は、茨木の図書館の方も取り組まれているのでしょうか？ イベントが一部のものであるのか、全体像が解らず教えて頂きたいです。」

⇒大阪府の第3次子ども読書活動推進計画の一環で、大阪子ども読書活動推進ネットワークフォーラムという事業があり、その中で子ども達に本を読むきっかけづくりをということで取り組まれている。茨木市の穂積図書館でおはなし会をしたりしていて、摂津市は声掛けいただいたので参加している。

大阪府の取組内容に男性がもっと子育てに参加することを呼びかける「よみメン」活動がある。摂津市民図書館に楽器が弾けてなおかつおはなし会も運営できる男性スタッフがいるので茨木市から声がかかった。

(事務局) ○「鳥飼図書センターの復旧経過についてご報告下さい。」

⇒応急の対応はしたが雨漏りしている。特に3階学習室がひどいので映画会を中止せざるをえなかった。3月20日の工事完了後に漏電検査を経てイベントを再開したい。工事中に近隣の方には駐車駐輪で不便をかけている。

(委員) 第一案件について意見はないか。

(委員) 実際、図書館は男性の利用者が少ないと思うし、男性は選ぶ本の種類も違うと思う。

(事務局) お子さんのいる男性が絵本コーナーで読んでいる姿はあまり見ない。そこで「よみメン」プロジェクトを行っている。昔に比べたら男性が絵本を読んであげていることが多くなった。女性スタッフと男性スタッフでおはなし会に選ぶ本の傾向が違うが、多様性ととらえていい傾向と思っている。

(委員) 絵本の種類も飛び出す絵本など多様になって0歳児からでも見ていられるようになった。お母さんもお父さんも読んであげている。

(事務局) 飛び出す絵本の貸出についてだが、繊細にできているため破損しやすい、イベントの際に展示している。

(委員) 大人のイベントで昔、坪内稔典先生指導の俳句や哲学、読書週間の講座があった。安威川公民館とタイアップした講座、公民館の地の利を活かす講演はできないか。予算のこともあるが、取り組んでもらいたい。

## (2)平成31年度年間事業計画案について

(事務局) 新規事業だが、9月にハーバリウム作成講座を実施する。

(委員) ハーバリウムというものがどういうものかわからない人のために、早め

に見本の展示をしてほしい。

(事務局) 外国語のおはなし会は年毎に市民・鳥飼交互に開催していたが、31年度は両館でできないか検討している。鳥飼で今年3月に大人向けイベントとしてバックヤードで図書館職員の仕事を見てもらい体験してもらい「図書館のウラガワ」を実施する。31年度の3月にも大人向けの「鉄道教室」を行う。図書館で学校用の本を借りられることを知らない先生がいらっしゃるの、学校支援で読書サポーター、先生に図書館利用や図書活用の研修を開きたいと考えている。

(委員) 市民の11月大人の講座は何をするのか。

(事務局) 来年度も「紅茶」のイベントを考えている。

(委員) 6月14日の「絵本であそぼう」にぜひ図書館に参加してもらいたい。

(事務局) 大勢の人前で図書館をPRできる機会なのでぜひ参加させていただきたい。

(委員) 6月の出張おはなし会父の日スペシャルを市広報誌などでもっとPRすべき。

(事務局) 昨年の参加者の傾向はどうだったのか。

(事務局) 男性が増えたというよりも、男性スタッフがおはなし会を行っている点が目新しかったといえる。もう少し父親と子どもの参加が増えてもらいたい。

(委員) 保健センターでの活動はどうなっているのか。

(事務局) 4ヵ月健診で保健センターの方に広報をお願いしている。なお、コミプラの出張おはなし会は4月から開始時間を11時30分から11時に変更する。赤ちゃんを連れた方がお昼までに家に帰ることができる時間にした。

(委員) コミプラの展示にはいつも人がたくさんいる。同じような施設が鳥飼地区にもあればいいのだが。

(委員) 別府コミセンもイベントが増えて人も増えてきているので、コミプラのように出向いてみたらどうか。

(委員) 1月に行っている本の福袋の中身には本以外の物が入っているのか。また何冊入っているのか。

(事務局) 以前雑誌の付録と一緒に梱包することを考えたが包みにくいのでやめた。袋の中には3冊入れてある。中身を見せずにキーワードだけが見えるようにしてある。市民図書館では作成した福袋が全てなくなった。鳥飼では子ども向けが少し残った。

(委員) 館内OPACで予約の際のタッチパネルのキーが押しづらい。反応しないので何回か同じキーを押すとエラーが出てしまうので、館内OPACで予約をしなくなった。

(事務局) タッチパネルの反応はネットワークが混雑するタイミングで悪くなるが、他に原因がないかシステム会社に問い合わせをしておく。

(委員) 人気がある資料には予約が大量に入っていて、半年先にやっと回ってくることもある。そういった本を他の図書館から借りられないのか？

(事務局) 人気がある本は間違いなく他の自治体の図書館でも大量の予約が入っているので、図書館同士の暗黙の了解で予約を入れないようにしている。待つていただくしかない。かといって、一過性のブームに乗って同じ本を大量に購入することはできない。

### (3)その他

(委員) 鳥飼の工事で玄関スロープが一部使えなくなっている。簡易的なものでいいので、工事の範囲外の場所にスロープを付けてもらえないか。

(事務局) 福祉用具関係のもの探してみる。

(事務局) 前回の図書館等協議会で出たご意見について回答をしたい。

(事務局) ●市民図書館のエントランスが暗いという意見が出ていたが、対策として、フロアスタンドを通路に設置した。昼間はわかりにくいですが、夜にはよく目立っている。

●市民図書館閲覧室の書架間で座れる椅子をというご要望について、シルバーカーを考えている。

●大型絵本の団体貸出については4月からスタートする予定である。条件として図書館に団体として利用者登録をしていること、おはなし会を企画していること、を上げる。なお、季節のイベントに関係している本は利用が込み合うので足りなくなることを了承していただきたい。

(委員) 市民図書館の雑誌書架の棚について、低い棚が取り出しにくいのだが。鳥飼の方はどうなのか。

(事務局) 鳥飼にも市民と同じような雑誌書架がある。配架場所が足りない点や書架そのものを入れかえるにしても建物の構造からの対応になるので、難しい。

(委員) パソコンからの予約方法の改訂版マニュアルは保健センターに置いてあるのか。

(事務局) 持って行ったチラシのすべてを置いてもらうことは、相手方の都合もあるのでできないかもしれない。

(委員) 健都の図書館はいつオープンするのか。摂津市民は使えるのか、協定を新たにするのか。

(事務局) 2020年度に吹田市の新館が開館する。現行の北摂広域利用での対応になると思う。

(事務局) 井高野中学校の特別貸出について、12月26日に井高野中の校長より申し入れ書をいただき、1月8日から始まった。1月で15人の登録があった。利用条件は、北摂広域と同じで2週間5冊で運用している。大阪市との相互利用協定締結の話も進めていて、1月に大阪市と協議をした。北摂で隣接している自治体で大阪市と相互利用協定を結んでいないのは摂津だけなので、平成31年度内に協定を締結する方向で進めている。

(委員) 絵本の読み聞かせで0歳児が増えているので手遊びよりわらべ歌を聞かせたい。わらべ歌全集のCDがあるのだが高価なので図書館で持ってもらう

使うことはできないか。

- (委員) 大学の図書館に依頼してもらえれば貸出できる。読み聞かせボランティアの団体には子ども保育学科の学生がお世話になっているのでぜひ協力したい。人間科学大では、健康寿命や高齢の親とのコミュニケーション他の講座を行っているので、地元の活動に協力していきたい。